

本誌52巻1号掲載「日本におけるCOVID-19パンデミック時のmRNA脂質ナノ粒子ワクチン3回接種後のがん年齢調整死亡率の上昇」(翻訳)の原本論文の理解困難な撤回について*

本誌52巻1号に掲載の表記翻訳の原本は、2023年10月8日に *Cureus Journal of Medical Science* に投稿され、査読を経て2024年4月1日受理、同月8日公表された。和訳掲載の本誌52巻1号は同年7月1日に刊行された。その後、6月26日に原本論文が *Cureus* 編集長名で撤回されたことについて、7月2日に著者である翻訳者より本誌に連絡があった。*Cureus* の撤回通知文において論文中の撤回の根拠となる特定のデータや記載が明示されていないため、著者に問い合わせたところ以下の情報を掲載してほしいとの依頼があった。

「臨床評価」編集長
(2024年7月20日)

「日本におけるCOVID-19パンデミック時のmRNA脂質ナノ粒子ワクチン3回接種後のがん年齢調整死亡率の上昇」doi: 10.7759/cureus.57860 *Cureus* 編集部による撤回に関する事実経過について：原著者全員の証言

1. 本論文は *Cureus Journal of Medical Science* に2023年10月8日に投稿、正規の査読において全てのコメントに回答し、2024年4月1日に editor-in-chief よりアクセプト、同年4月8日にオンライン上に出版された。
<https://www.cureus.com/articles/196275-increased-age-adjusted-cancer-mortality-after-the-third-mrna-lipid-nanoparticle-vaccine-dose-during-the-covid-19-pandemic-in-japan#!/>
2. 出版後3か月で約28万7千閲覧 (online article views) され、ソーシャルネットワーキングサービス上でも諸外国の有識者による解説をされるなど反響を得ている。
<https://rumble.com/v4pjyex-caner-after-covid-vaccination.html>
3. 2024年6月26日にweb上で「編集長はこの論文を撤回した。出版後の検証の結果、死亡率とワクチン接種状況との相関関係は、この論文で示されたデータでは証明できないと判断された。これは論文の結論を無効にするものであり、撤回を決定した。著者らはこの撤回に同意しない」と表示された。
<https://www.cureus.com/articles/196275-increased-age-adjusted-cancer-mortality-after-the-third-mrna-lipid-nanoparticle-vaccine-dose-during-the-covid-19-pandemic-in-japan/retraction#!/>
4. 複数の研究者やジャーナルにより、本論文の *Cureus* 編集部による撤回に対する疑問が表されている。
https://childrenshealthdefense.org/defender/japanese-study-covid-vaccines-cancer-mortality/?utm_id=2024070

以上の通り、原著者全員が上記の説明が我々の知る限り正確であることを確認する。

宜保美紀，小島勢二，藤沢明德，菊池貴幸，福島雅典
(2024年7月17日)

Rinsho Hyoka (Clinical Evaluation). 2024 ; 52 (2) : 275.

* 本稿は、本誌52巻1号Websiteに2024年7月20日オンライン掲載した通知文（下記URL参照）を52巻2号掲載記事とした。52巻1号Website掲載版、本号掲載版とも有効であり、「臨床評価」編集長の立場は現後任において継承されている。

http://cont.o.oo7.jp/52_1/521_6590.pdf